

令和3年度 第9回柿崎区地域協議会次第

日時：令和3年11月16日（火）午後6時
場所：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 報告事項

- (1) 柿崎区地域協議会各種委員会からの活動報告・・・・・・・・・・資料 1

5 協議事項

- (1) 自主的審議事項のテーマについて・・・・・・・・・・資料 2

6 その他

- (1) 第11回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議の開催について
日 時：令和3年11月25日（木）午後6時～
会 場：柿崎コミュニティプラザ 市民活動室
- (2) 第6回地域協議会だより編集委員会の開催について
日 時：令和3年11月30日（火）午後6時30分～
会 場：柿崎コミュニティプラザ 市民活動室
- (3) 第10回柿崎区地域協議会の開催について
日 時：令和3年12月21日（火）午後6時～
会 場：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

7 閉 会

柿崎空き家活かそうプロジェクト 会議記録

日時	令和3年10月26日(火) 18:00~19:20	出席者	蓑輪委員長、白井副会長、小出委員、 中村委員、箕輪委員
場所	市民活動室		
記録者	白井副会長	欠席者	薄波副委員長、片桐充委員
標 題	第10回柿崎空き家活かそうプロジェクト		

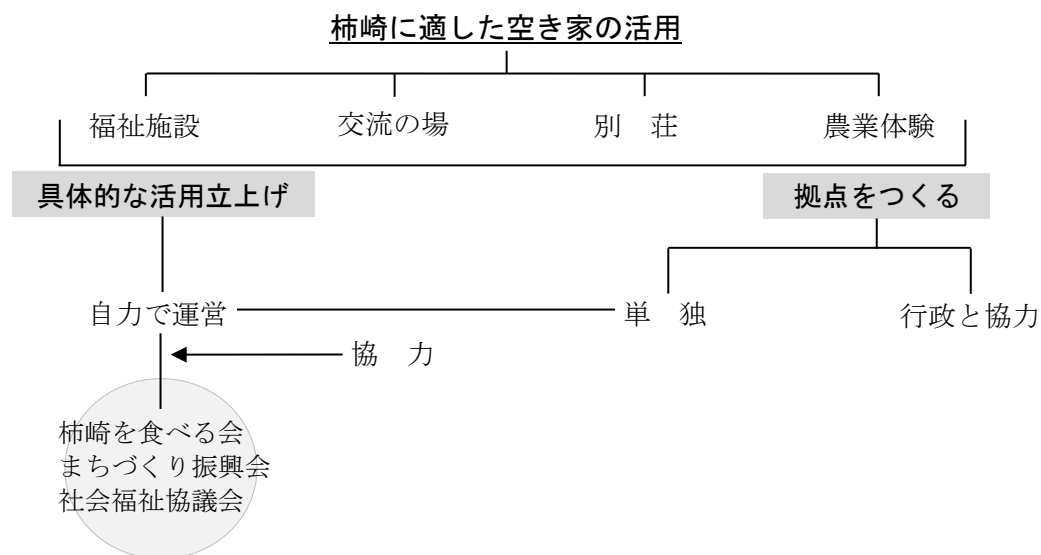
○本日のテーマ

「視察研修を踏まえた空き家の活用について」

■協議結果

- ・今後、下記のイメージのように目的別などさまざまなパターンで、柿崎に適した空き家の活用の具体案を考える。
- ・具体案一つ一つに対して補助金や課題などを検討する。
- ・具体案を基に各種団体と話し合い実施の可能性を探る。
- ・今年度末までに中間報告をまとめ方向性を示す。
- ・令和4年度以降、審議を継続していくのであれば、具体案の中から実施に向けた審議を行う。

【イメージ】



○先進地視察に参加しての主な意見・感想

- ・「矢代古民家活用の会」の皆さんは、地域を元気にしたいという思いで活動している。年代的にも経験豊かな人たちが集まり、まとまっていた。
- ・ボランティアで空き家となった古民家の改修を行っている。その力に驚いた。
- ・古民家の持つ力を見極め、その力を引き出し生かしている。
- ・「山のホムサ」の親子は高尾を愛し、高尾を知ってほしいという思いを持っていることを強く感じた。

- ・ホムサは儲けようという気持ちがありません、人を呼び込みたいという思いで始めたようだが、取り組みがうまくいっているのかどうか考えてしまった。続けていくことは大切だが、モチベーションがいつまで保てるかが心配だ。
- ・運営は厳しい。「矢代古民家活用の会」は宿泊事業を始め、施設の裏のケヤキ林の整備を行いイベントにも力を入れていくようだ。また、「山のホムサ」は1棟貸しを行うため自宅を改修するが、厳しい運営が続くと思う。
- ・視察先から受けたアドバイスは貴重だった。
 - ①お金が絡んでいるので、事業が失敗したときの覚悟が必要
 - ②不動産を無償で譲り受けても税金がかかってくる。
 - ③古民家の潜在価値、力を最大限に生かすプランニングが大切
 - ④憩いの場には必ず「食」が必要
 - ⑤核となる組織、メンバーが必要

○今後の委員会の予定

- ・開催日時：11月25日（木）午後6時～
- ・議 題：地域の活性化等を目的とした空き家活用の具体案の検討

以 上

- ・ R3. 4～ 交通政策課、自治・地域振興課と今後の交通の在り方を協議
- ・ R3. 7.27 柿崎まちづくり振興会へ路線バス廃止に伴う代替え交通の検討を文書で依頼

(2) 柿崎区の空き家対策について

①内容：柿崎区内の空き家の現状を調査し、地域活性化のための空き家の活用法について検討を行うもの

②構成：蓑輪和彦委員長、薄波清美副委員長、白井一夫副会長、片桐充委員、小出祥世委員、中村誠委員、蓑輪明男委員

③経過

- ・ R2. 11.26 建築住宅課職員から「上越市の空き家対策の取り組み」について説明を受ける。
- ・ R3. 3.12 県外からの移住者との意見交換を実施
- ・ R3. 9.17 地域の活性化等を目的とした空き家の活用を協議するため先進地を視察
古民家カフェ矢代（妙高市） 山のホームサ（牧区高尾）

④今後の取り組み

- ・ 柿崎に適した空き家の活用の具体案を考え、その案を基に各種団体と話し合い、実施の可能性を検討し、今年度末までに中間報告をまとめ方向性を示す。

3 任期後半の自主的審議事項の取り組み

○令和2年度第7回地域協議会では、任期後半において次の2点を自主的審議のテーマとして採り上げ、調査研究・協議することとした。

(1) 柿崎区保育園の在り方

①内容：子どもの出生数が減少している中で、保育園の統廃合等の方向性を検討する。前々期地域協議会からの継続審議事項として、将来的な在り方を検討する。

※参考

前々期からの保育園に関する自主的審議事項の内容

- ・ テーマ：柿崎区保育園にかかる課題と今後について
- ・ 審議開始日：H26. 11.26
- ・ 内 容：柿崎区内の保育園4施設について、それぞれ老朽化が進んでいることに加え、未満児の受け入れの有無や延長保育の時間帯が異なる等サービスに差が生じているほか、津波に対する防災面の課題がある。これらの課題と、少子化に伴う将来的な園児数の減少が見込まれることから、柿崎区の保育園が今後どうあるべきかを検討するもの

(2) 柿崎免許センターの跡地利用

①現状：具体的な活用方法や方針が示されたわけではないが、市の関係部署（用地管財課、企画政策課）において既に検討中である。